

令和5年度浦安市総合計画推進委員会議事要旨

- 1 開催日時 令和6年3月7日(木) 午前10時00分～11時45分
- 2 開催場所 市役所4階 災害対策本部室
- 3 出席者
(委員) 坂本委員長、天笠委員、清水委員、鈴木委員、高木委員、持永委員、
中川委員、古田委員
(事務局) 内田市長、堀井企画部長、鞠子企画部次長、森企画政策課長、
坂井企画政策課長補佐、久野企画政策課総合計画係長
- 4 議題
(1) 第2次実施計画について
- 5 議事の概要
(1) 第2次実施計画(案)について事務局より説明を行い、委員より意見を述べた。
- 6 会議経過
第2次実施計画(案)の要点や主要な取り組みについて事務局より説明を行った。
その後、第2次実施計画の策定や、今後の事業の推進に対して、基本目標ごとに委員より意見を述べた。
その際に表明された主な意見は次のとおり
●基本目標1 育み学び誰もが成長するまちへ
 - ・基本目標1における課題対応をしっかりと捉えて、第2次実施計画に取り込まれている。その中でヤングケアラー支援の一層の充実をお願いしたい。
また、幼児教育の交通整理が必要になっている。その状況を踏まえ、充実した子どもの育成の視点から、認定こども園や保育園、幼稚園の相互連携と、それに小学校との連携などを加えて、浦安なりの取り組みを進めて欲しい。
 - ・学びの多様化学校設置事業は、千葉県全体に大きな影響力を持ち、周囲から期待されているため、不登校対策を含めた様々な知見を集約して事業を進めて欲しい。
 - ・コミュニティ・スクールについて、立ち上げの時は運営指導員が高齢になる場合が多いため、全ての世代が関われる浦安型コミュニティ・スクールを目指して欲しい。
 - ・ICT教育について、ICT機器を勉強だけでなく、アートの世界などにも活用できると良いと考える。また、ICT機器を活用したアートなどの指導がで

きる先生が配置されるとさらに良い。

- ・P T Aに関して、自治会を含めた地域住民との協力体制がなくなってきている印象がある。つながりをつくっていくことが、今後のP T Aの課題だと思っている。
- ・学びの多様化学校設置事業は、雑誌などで特集されるようなタイムリーな施策であり、一早く取り組まれたことを評価する。そのうえで実情やニーズの明確化や具体化、浦安らしい支援が必要だと思う。
また、学びの多様化学校や浦安市不登校支援基本方針等に関する意見募集を行ったことも評価するが、多方面からの幅広い意見を集めるためには、より意見が出やすくなるような工夫が必要である。
- ・学びの多様化学校に通う生徒が将来的に自立でき、選択肢を増やせるような視点がもてるよう、学校間や他機関との連携を重視しつつ、教員構成や授業内容の多様化等を含めた、浦安市らしさのある支援が求められる。

●基本目標 2 誰もが健やかに自分らしく生きられるまちへ

- ・地域包括支援センター・サテライト設置事業について、日の出地区のように死角となる地域を見つけて、その死角を埋めるきめ細やかな施策を講じていると思う。
また、地域包括支援センターは、国から求められる業務も多様化しているため、今後は設置だけでなく、職員の数を増やしていくことを検討しなければならない。
- ・介護人材確保事業について、自治体単独ではなく、国全体で考えないといけない部分が大きいと思うが、今の段階で新規事業として立ち上げることは素晴らしいと思う。
- ・包括的支援体制推進事業は、事業の立ち上げ段階のため、まずは浦安市の直営で実施すると伺った。しかし、今後は長い関わりが可能となる体制を整備する必要があることから、民間の事業者への委託を検討すると良い。
- ・多世代交流とにぎわいの拠点創出事業について、地域福祉のため、住民が受け手だけではなく担い手になることが大切である。また、高齢者だけでなく、子どもや障がい者などの様々な人を巻き込んでいく必要がある。市は、拠点の日常的な交流から気づいたことを次につなげるために福祉、教育、子育てなどの横断的なプラットフォームをつくることが重要である。

●基本目標 3 安全・安心で快適なまちへ

- ・若い人向けの住宅ストックがない中でも、市のビジョンとして、若者の人口を増やしたい場合には住んでもらうための取り組みが必要と考える。例えば、台湾では高齢者を支援するなどの条件をつけながら、若者が住宅に安く入居できる施策を実施している。

- ・次の大震災が発生した時は、トイレ難民は必ず発生するので、トイレ難民を出さないようにするため、今後は埋立地域の人たちにトイレキットを配布する施策なども検討していく必要がある。
- ・港地区海岸護岸開放事業について、釣り護岸を整備するのはとても良いことだと思う。今後は、釣りを楽しめる市としてもアピールしていくのも良いと思う。その際には、市外から来る人に受益者負担してもらう仕組みを検討すると良いと考える。
- ・ごみ処理方法について、焼却処理すると二酸化炭素の発生は防げないので、焼却処理以外の、二酸化炭素排出のない亜臨界水処理技術などの他のごみ処理方法を今後検討すると良い。
- ・墓地公園について、関係機関との協議が必要となるが、海洋散骨などの色々な埋葬の仕方に対応出来るようになったら良いと思う。

●基本目標 4 多様な機能と交流が生み出す魅力あふれるまちへ

- ・観光客を誘客するため、インフルエンサー等に協力を依頼して浦安の楽しみ方を広めることが鍵である。加えて、浦安駅と舞浜駅の間のアクセス向上が不可欠であると考えている。

●その他

- ・これらの意見を踏まえ、第2次実施計画の策定及び事業の推進にあたるようお願いしたい。